

## 上江洩達也先生最終講義及び退職記念祝賀会の御案内

謹啓 初春の候 皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます

さて、この度、上江洩達也先生におかれましては令和2年3月末日をもちまして定年退職されることになりました。

上江洩先生は、昭和58年に奈良女子大学理学部物理学科に助手として着任され、同年、京都大学において理学博士の学位を取得されました。その後、昭和63年に助教授に昇任、平成10年に奈良女子大学大学院人間文化研究科の改組に伴い、同大学院人間文化研究科複合領域科学専攻自然環境学講座の助教授に配置換え、平成15年に同研究科複合現象科学専攻の複合自然構造講座の教授に昇任されました。

上江洩先生のご専門は、物性基礎論及び統計力学で、特に、非線形動力学とカオス、ランダム系とニューラルネットワークや情報統計力学の諸問題の理論的研究を行ってこられました。

奈良女子大学に赴任された当初は、磁性体の非平衡現象の研究や大学院のときの研究課題である力学系におけるカオスやトポロジーの問題に取り組んでこられました。

その後、情報統計力学的視点から学内外の共同研究者や学部学生、院生の方々と共にニューラルネットワークにおける学習や想起の研究を行われ、また、学内共同研究として、生物学科の高木由臣先生（現・奈良女子大学名誉教授）方とゾウリムシの寿命などの研究も行われました。

さらに、企業の研究者、海外の研究者や学生と免疫ネットワークの研究を行われ、また、磁性体のモデル、古典XYモデルにおける連想記憶型相互作用の研究や、携帯電話の性能評価、電子透かし等の研究も行われました。10年ほど前から、同期非同期転移を示す位相振動子系の可解モデルを非線形動力学の手法を用いて研究され、数年前、位相振動子系の同期非同期転移と古典XYモデルの秩序無秩序転移に対応関係があることを、あるクラスの無限レンジ相互作用の場合に発見し、現在、対応関係が成立する相互作用について、研究されています。

教育に関しては、在職37年間で、学部、修士課程、博士課程の学生の方々約百名の研究指導を行ってこられ、共著論文は約20編に上ります。また、多数の講義、演習を担当されてきました。

大学運営においては、物理学科長、数物科学科長、学部と大学院の評議員、大学院複合現象科学専攻長、全学と学部のFD推進委員長、教務委員長などを勤められ、多大な貢献をされてきました。特に、平成九年、物理学科における「複雑系の物理学研究室」の新設（スタッフ3名）に貢献されました。

上江洌先生のこれまでのご功績を称えるとともに、先生のご健康と今後の一層のご活躍を祈念して、退職記念講義及び記念祝賀パーティーを企画致しましたので、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和2年年1月吉日

上江洌達也先生退職記念事業発起人代表

奈良女子大学研究院自然科学系物理学コース長

清川修二

## 記

### 最終講義のご案内

講演題目：「奈良女子大における研究、教育、そして邂逅 — 37年の軌跡 —」

日時 令和2年3月1日（日） 15時から16時30分

（14時30分より受付）

場所 奈良女子大学記念館2階 講堂

参加費 無料（事前申込 不要）

## 退職記念祝賀パーティーのご案内

日時 令和2年3月1日（日） 17時30分から19時

（16時30分より受付）

場所 奈良女子大学ラウンジ（文学部S棟一階）

会費 5千円（記念品代を含む 要事前申込）

誠に恐れ入りますが、退職記念祝賀パーティーへご出席される方は、準備の都合上、左記連絡先へ同封の葉書または電子メールにて令和2年2月3日（月）までにお知らせ下さい。電子メールでのご回答の際は、お手数をお掛け致しますが、件名を「上江洲達也先生退職記念事業」としていただけますようお願い致します。

なお、退職記念祝賀パーティーの会費は、当日、退職記念祝賀パーティー受付にて徴収させていただきます。

連絡先 奈良女子大学研究院自然科学系物理学領域 清川修二

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

電話番号 0742 (20) 3986

電子メール profuezu\_lastlec@ki-rin.phys.nara-wu.ac.jp

## 発起人（五十音順）

石井邦和	太田直美	大木洋	小川英巳	狐崎創	清川修二	下村真弥	高橋智彦
土射津昌久	戸田幹人	永廣秀子	蜂谷崇	林井久樹	比連崎悟	松岡由貴	宮林謙吉
山内茂雄	山本一樹	吉岡英生					